

令和7年度 秦野市食育推進委員会 会議録

日時	令和7年12月3日（水） 午後7時から7時35分
場所	秦野市役所本庁舎3階 3A会議室
出席委員 12名	<p>◎会長 森 真理（東京慈恵会医科大学）</p> <p>○副会長 古川 弘子（平塚保健福祉事務所秦野センター）</p> <p>●委員（10名、以下順不同、敬称略）</p> <p>秦野市食生活改善推進団体 小澤 美代</p> <p>秦野商工会議所 秋山 純夫</p> <p>秦野伊勢原食品衛生協会 神戸 和彦</p> <p>秦野伊勢原歯科医師会 平野 壯明</p> <p>秦野市中学校長会 安藤 美千代</p> <p>秦野市小学校長会 府川 伸</p> <p>秦野市立幼稚園・こども園園長会 持田 由美</p> <p>秦野市小学校教諭 小野 朋子</p> <p>秦野市学校保健会 養護教諭 菅原 今日子</p> <p>市民委員 加藤 裕美子</p>
欠席委員 3名	<p>秦野市農業協同組合 三瓶 壮文</p> <p>秦野伊勢原医師会 古木 隆元</p> <p>市民委員 浜地 朋子</p>
事務局	<p>秦野市こども家庭支援課 深川課長</p> <p>こども家庭支援課 城所課長代理</p> <p>こども家庭支援課 渡邊</p>
会議次第	<p>1 開会（こども家庭支援課 深川課長）</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 議事（進行：森会長）</p> <p>(1) 仮称）第4次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）の素案について（素案に基づき、事務局から説明）</p> <p>《委員からの御意見、御質問》</p> <p>第3章 成果指標「給食食材における秦野産野菜の使用割合（小学校）」について</p>
府川委員	<p>地産地消の推進の小学校のところを見ると、令和元年度の基準値が37.1%で、令和5年度は23.6%と下がっている。本校の栄養士に確認したところ、この間に中学校給食が始まったことにより、栄養士としては、地場農産物を多く使いたいが、農協の食材の納入が中学校給食のほうに行き、小学校給食のほうが地元の青果店から納入という形になった関係で、結果的に地場産の割合が減ってしまったということであった。小学校の栄養士としても、本当は農協から納入して地場産をもっと使いたいと考えている。</p>

森会長 府川委員	<p>小学校と中学校でうまく調整はできないのか。</p> <p>教育委員会でそのように分けているので、調整は難しいのではないかと思う。いろいろな事情で中学校給食が始まった際に、農協関係は中学校、小学校は地元の青果店という形に分けられているのだと思う。</p>
森会長	この数値が下がっていることについて、何か明記するとか加える必要はあるのか。
事務局	小学校の取組状況が悪化しているような印象を受けるものにはなるので、教育委員会と学校にも話を聞いた上で、適切に対応したい。
古川委員	<p>第5章 施策の展開について</p> <p>最初に朝食の欠食率や体型の部分が改善しなかったという話があったが、今後この改善がされなかったところに特に力を入れていく予定はあるのか。</p>
事務局	朝食欠食率の改善に向けて、こども家庭支援課を含めた各課で新しい事業は予定していない。しかし、朝食の欠食率が上がっているということは課題だと考えているため、今ある既存の事業の中で、どうしてもっと朝食を食べてもらえるか、課題を全庁的に共有しながら、今ある事業の中で啓発を強化することを考えている。
森会長	私もそれを強く感じており、こども家庭支援課の担当が各部署に朝食についてしっかりと説明をしてもらえるという理解をしている。
加藤委員	朝食欠食の件について、10代の子どもの理由が記載されていなかったが、10代だとやはり保護者のもとで食生活は成り立つかと思う。どういった理由で欠食になるのか教えてほしい。
事務局	朝食欠食の理由は秦野市 Web アンケート調査から集計をしているが、回答する10代の方がほぼいないため、数字を持ち合わせていない。小学生と中学生の毎日朝食を食べている割合は、全国学力・学習状況調査から数字はでていますが、理由についてこの調査では確認していないと思うので、現状把握していない。庁内で確認して、もしデータを持っているところがあれば掲載することを検討したい。
森会長	教育委員会のほうで朝食の件をまとめていたと思うので、分かる

